

東洋公衆衛生学院 同窓会 会報

〒151-0071 東京都渋谷区本町6-21-7 東洋公衆衛生学院 同窓会 事務局,
Tel 03-3376-8511 Fax 03-3376-4345 E-mail yama@toyo-college.jp

発行日 2015.11.30 第2号

2号の内容

- 1 学生支援講演会開催
- 2 三村氏 福見秀雄賞受賞
- 3 学生の様子
- 4 諸連絡

1. 学生支援講演会の開催

10月31日東洋公衆衛生学院で秋の学院祭が開催され、13時30分から臨床検査技術学科17期卒業の独立行政法人国立病院機構横浜医療センターの国仲伸男氏、14時30分から診療放射線技術学科22期卒業の石心会川崎幸病院の石田和史氏によりそれぞれ約1時間の講演をして頂きました。

●国仲伸男氏

「これから求められる臨床検査技師像」

主に臨床検査技術学科1, 2年生の約80人を対象として開かれた講演は、学生時代の話から始まり、臨床検査技師の今昔、認定資格の取得の重要性、チーム医療、これから求められる臨床検査技師への内容であった。

今年の春に臨床検査技師の法改正により鼻腔や咽頭などからの検体採取が可能になったこと、生理機能検査として味覚検査や嗅覚検査が加わったことを説明された。また、臨床検査技師の国家資格の取得は大前提で、専門性を高め、個々のスキルアップのためには認定資格の取得が重要であり、今後、チーム医療における臨床検査技師の働き、さらに検査説明・相談ができる検査技師が必要とされつつあると話された。

最後に学生への要望として、国家試験合格を目指すことを絶対条件とし、コミュニケーション力を身につけて現場に出てきてほしいと付け加えられた。



●石田和史氏

「Think different but don't Believe Everything you Think」

座席数の関係で診療放射線技術学科の2年生を中心に講演をされ、CTの最新技術であるPhyZiodynamicsをご紹介された。

最新の画像再構成方法の一つで、被ばく線量を極限まで低減させても有益な画像を提供できるという技術であり、一つ一つのボクセルから画像を再構成するもので、連続性のない信号はノイズと判断し、4D画像が今までとは別次元の鮮明度で再現されていた。

近年救急医療に力を入れている石田氏の病院で、この技術をどのように有効利用しているのか、事例を交えて紹介して頂き、石田氏は急性腹症(絞扼イレウス)の診断に応用していた。腸管壁の動きを画像化するものだが、主にMRIで提出されていたものを、撮影時間が短いCTで同じよう画像を提供できないかという観点から研究が進められた。4D画像では被ばくが増加してしまうので、パルス照射にし、その間をPhyZiodynamicsで補完させることにより、動画の連続性を見ても、連続照射と比較して、まったく遜色無い画像が提供可能となった。

最後に、自らの学生時代の写真を見せながら、決して成績が良くなかったことを強調しながらも頑張れば何でもでき、充実した人生がおくれることを伝えてくれた。



2. 三村邦裕氏 福見秀雄賞を受賞



福見秀雄賞贈呈式(右が三村氏)

臨床検査技術学科12期卒の三村邦裕氏がこの度、第34回福見秀雄賞を受賞されました。本賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に尽力し、かつ後進の指導育成に貢献のあった方に贈呈される賞です。

東洋公衆衛生学院の学生に25年、さらに千葉科学大学の学生と長きに渡る臨床検査技師の育成に携わってきた三村氏には当然な賞と思われま

す。同窓会としても喜ばしいニュースとして報告させていただきました。

●三村氏のご略歴

昭和55年	東洋公衆衛生学院 臨床検査技術学科勤務	
平成2年～	東洋公衆衛生学院 臨床検査技術学科 教務主任	
平成6年～	東洋公衆衛生学院 臨床検査技術学科 学科長 兼 教務部長	
平成18年～	千葉科学大学 教授	
現在	千葉科学大学大学院 危険管理学研究科 専攻長	以上

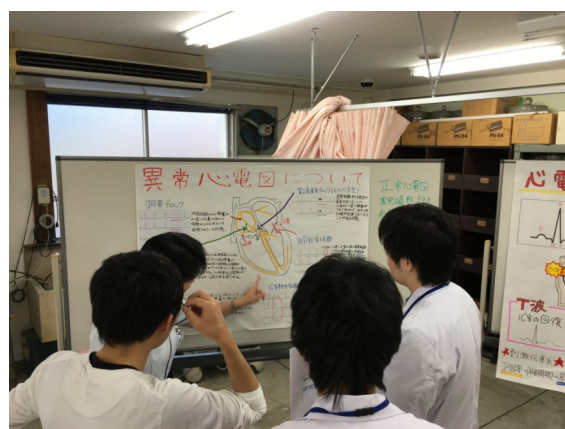
3. 学生の状況

10月31日と11月1日に実施された学院祭では学生達がイベントや模擬店、研究発表ありと大いに盛り上がったようです。中でも逆ミスコンと称した女装・男装のコンテストのクオリティは目を見張るものがあると一押しでした。

写真は学院祭で盛り上がる学生諸君の様子です。



↑ 血糖の研究発表



↑ 心電図の研究発表



↑ 解剖福笑い

●臨床検査技術学科

3年生は8月28日に臨地実習を終了した直後の8月30、31日に国試対策研修を実施しました。内容は5～6人のグループに分かれ各教科の傾向と対策をまとめ、さらに各自で問題を作成し、その解説を発表するという、過密スケジュールの1泊2日だったそうです。現在は、模擬試験を月1回のペースで受験し、平成28年2月24日実施の第62回国家試験に向けて朝、夕と勉強に励んでいるそうです。

1、2年生は9月中旬からシルバーウィークを挟み前期期末試験が実施され、その後後期授業が開始されました。11月中旬には後期中間試験が実施され、1月下旬から2月の後期末試験の実施予定だそうです。

● 診療放射線技術学科

7月～8月に3年生は治療・核医学分野を、9月～10月に2年生は診断分野の臨床実習を実施してきました。3年生は国試に向けて、治療・核医学分野の知識を吸収し、2年生は初めての現場を経験し、それぞれが目に見える成長を遂げています。就職に向けての明確なビジョンを確立した者もいれば、医療現場の厳しさを実感した者もいます。いずれにしろ、貴重な経験を積んだようです。

また放射線科の夏のイベントで忘れてはならない放射線取扱主任者試験に今年も1～3年の希望者の学生が挑戦しました。結果は第一種10名・第二種10名と例年より多くの合格者がありました。この主任者試験は夏休み期間である8月末に行われている試験で、他校と差別化を図る上で重要と考え、教務課の先生方が講習会を開催しています。合格は学生の頑張りの賜物ではありますが、教務課の頑張りに、少しばかり思いを馳せて頂けると幸い…と、先生方からのつぶやきも聞こえました。

11月以降になると1年生の中間試験や2、3年生の期末試験が始まり、秋が深まるにつれ、学生には寒さ的にも勉強的にも厳しい季節が到来しています。

4. 諸連絡

- 同窓会総会は平成28年4月2日(土)の午後に学院にて開催予定です。
- 同窓会のホームページの開設準備を進めています。それに伴いWebによる同窓会会員登録をお願いいたします。東洋公衆衛生学院のホームページのトップ画面右下の同窓会のバナーをクリックして同窓会会員登録(修正)により入力してください。

東洋公衆衛生学院 同窓会

〒151-0071

東京都渋谷区本町6-21-7



電話 03(3376)8511

FAX 03(3376)4345

Email: yama@toyo-college.jp

東洋公衆衛生学院ホームページ
はQRコードをご利用下さい

